

令和8年4月17日

報道機関各位

長岡市商工部産業イノベーション課



新規会員は8社増！展示会出展や産総研との連携でバイオ産業の成長へ 長岡バイオエコノミーコンソーシアム総会を開催

長岡市は、令和3年6月の「地域バイオコミュニティ」認定（現在全国9地域、関東甲信越地区では唯一）を機に、バイオエコノミー^{※1}社会の実現に向け、未利用資源の利活用やバイオ産業成長・創出に取り組んでいます。

設立から6年目となる「長岡バイオエコノミーコンソーシアム」は、現在72団体（昨年度から8社増）が加盟しております。

このたび、今年度の事業計画を審議するほか、未・低利用資源の成分利用による高付加価値化事業などの活動発表を行う、令和8年度総会を開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

令和8年度長岡バイオエコノミーコンソーシアム総会

- 1 日 時 4月22日（水）午後2時～4時
- 2 場 所 アオーレ長岡 市民交流ホールA（長岡市大手通1-4-10）
※オンライン参加もあり
- 3 内 容
 - （1）会長あいさつ（磯田長岡市長）
 - （2）令和7年度事業報告、令和8年度計画（案）について
 - （3）新会員の紹介（ゴミナクス（株）、キリンホールディングス（株）など）
 - （4）活動発表（午後3時頃から）
 - ・未・低利用資源の成分利用による高付加価値化事業
（長岡市商工部産業イノベーション課、住友化学（株）バイオサイエンス研究所・樫木友也 Biondo 営業本部長）
 - ・「長岡・産総研 生物資源循環 BIL^{※2}」の活動報告
（同BIL・宮房孝光プロジェクトマネージャー（産総研））
 - ・長岡技術科学大学「長岡 COI-NEXT の取り組みと共創拠点の整備」
（同大学研究戦略本部・鈴木義之上席 URA）
- 4 参加予定者 58人（現地47人、オンライン11人）

※1 バイオエコノミー

バイオテクノロジーや再生可能な生物資源などを利活用し、持続的で再生可能性のある循環型の経済社会を拡大させる概念。

※2 長岡・産総研 生物資源循環 BIL（ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ）

産業技術総合研究所（産総研）、長岡技術科学大学、長岡市の3者で「有機廃棄物を含む生物資源の資源循環」をテーマとした研究開発や、長岡市とその周辺地域の食品・バイオ関連などの企業支援を連携して行う。令和5年11月に全国で2カ所目の開設で、自治体の参画は長岡が初。

問い合わせ：産業イノベーション課 大井
TEL0258-39-2402